

# 令和8年夏季の天候及び気象予測

令和8年5月26日

令和8年度第1回亀岡市防災会議

京都地方気象台 坂地

# 3か月予報（6月～8月）

令和8年5月19日発表

## 近畿地方 3か月予報（06月～08月）

2026年05月19日14時00分 大阪管区気象台 発表

06月～08月	気温	平均気温は、高い確率70%です。
06月	天候	平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。
	気温	気温は、高い確率60%です。
07月	天候	期間の前半は、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。期間の後半は、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。
	気温	気温は、高い確率60%です。
08月	天候	平年と同様に晴れの日が多いでしょう。
	気温	気温は、高い確率60%です。

## 気温、降水量の各階級の確率（%）

		06月～08月	確率 (%)		
			低い(少ない)	平年並	高い(多い)
気温	近畿地方	06月～08月	10	20	70
		06月	10	30	60
		07月	10	30	60
		08月	10	30	60
降水量	近畿地方	06月～08月	30	30	40
		06月	30	30	40
		07月	30	40	30
		08月	30	40	30

■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

# 3か月予報（6月～8月）

令和8年5月19日発表

## 月別の天候

6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。</li> </ul>
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>期間の前半は、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。期間の後半は、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。</li> </ul>
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>平年と同様に晴れの日が多いでしょう。</li> </ul>

## 向こう3か月の平均気温・降水量

		平均気温（向こう3か月）	降水量（向こう3か月）
近畿	日本海側	低10 並20 高70% 高い見込み	少30 並30 多40% ほぼ平年並の見込み
	太平洋側		少30 並30 多40% ほぼ平年並の見込み
数値は予想される出現確率（%）です		<p>平均気温（3か月）</p> <p>低い確率（%） 50 40 40 50 高い確率（%） 以上 7 平年並も40 以上</p>	<p>降水量（3か月）</p> <p>少ない確率（%） 50 40 40 50 多い確率（%） 以上 7 平年並も40 以上</p>

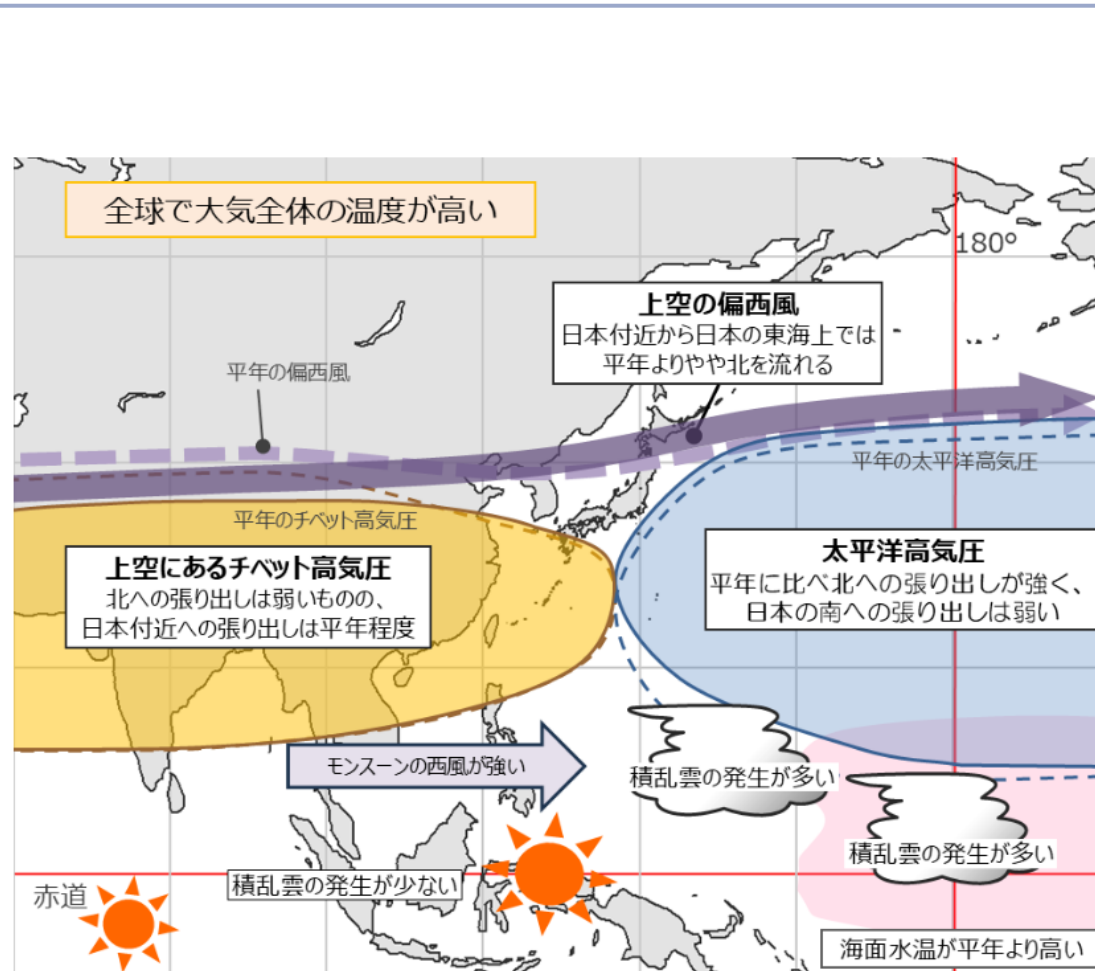
## 月別の平均気温・降水量

		平均気温 6月	平均気温 7月	平均気温 8月
近畿地方		低10 並30 高60% 高い見込み	低10 並30 高60% 高い見込み	低10 並30 高60% 高い見込み
数値は予想される出現確率（%）です		<p>平均気温 6月</p> <p>低い確率（%） 50 40 40 50 高い確率（%） 以上 7 平年並も40 以上</p>	<p>平均気温 7月</p> <p>低い確率（%） 50 40 40 50 高い確率（%） 以上 7 平年並も40 以上</p>	<p>平均気温 8月</p> <p>低い確率（%） 50 40 40 50 高い確率（%） 以上 7 平年並も40 以上</p>

		降水量 6月	降水量 7月	降水量 8月
近畿	日本海側	少30 並30 多40% ほぼ平年並の見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み
	太平洋側	少30 並30 多40% ほぼ平年並の見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み
数値は予想される出現確率（%）です		<p>降水量 6月</p> <p>少ない確率（%） 50 40 40 50 多い確率（%） 以上 7 平年並も40 以上</p>	<p>降水量 7月</p> <p>少ない確率（%） 50 40 40 50 多い確率（%） 以上 7 平年並も40 以上</p>	<p>降水量 8月</p> <p>少ない確率（%） 50 40 40 50 多い確率（%） 以上 7 平年並も40 以上</p>

## 予想される海洋と大気の特徴

- 地球温暖化の影響等により、全球で大気全体の温度が高いでしょう。
- エルニーニョ現象が発生する可能性が高く、海面水温は太平洋赤道域の東部から中部で高く、北太平洋熱帯域の中部でも高いでしょう。また、モンスーンの西風が強いでしょう。このため、積乱雲の発生はフィリピンの東から太平洋中部で多いでしょう。
- 一方、インドネシア付近からインド洋にかけては積乱雲の発生が少ないでしょう。
- これらの影響により、上空の偏西風はユーラシア大陸では平年より南を流れるものの、日本付近から日本の東海上では平年よりやや北を流れる見込みです。チベット高気圧は北への張り出しは弱いものの、日本付近への張り出しは平年程度でしょう。また、太平洋高気圧の北への張り出しは強く、日本の南への張り出しは弱いでしょう。
- これらのことから、日本付近は暖かい空気に覆われやすいでしょう。



数値予報結果をもとにまとめた予想される海洋と大気の特徴

## エルニーニョ監視速報 (No.404)

2026年4月の実況と2026年5月～2026年11月の見通し

気象庁 大気海洋部  
令和8年5月12日

- エルニーニョ現象もラニーニャ現象も発生していない平常の状態と見られるが、エルニーニョ現象時の特徴に近づきつつある。
- 今後、夏までにエルニーニョ現象が発生する可能性が高い (90%)。

### エルニーニョ監視指数の経過と予測

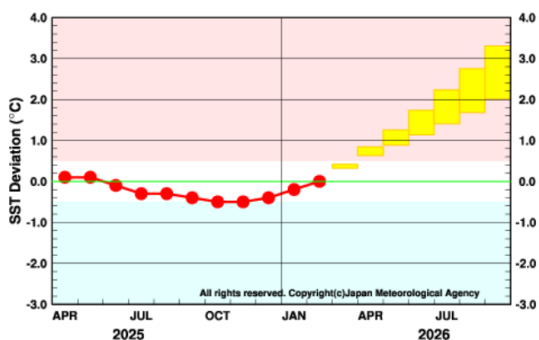


図1 エルニーニョ監視海域の監視指数（海面水温の基準値との差）の5か月移動平均値の経過と予測

エルニーニョ監視海域の監視指数（海面水温の基準値との差）の5か月移動平均値について、2月までの経過（観測値）を折れ線グラフで、大気海洋結合モデルによる予測結果（70%の確率で入ると予想される範囲）をボックスで示している。監視指数の5か月移動平均値が赤（+0.5°C以上）／青（-0.5°C以下）の範囲に入っている状態で6か月以上持続した場合に、エルニーニョ／ラニーニャ現象の発生としている。エルニーニョ監視海域の海面水温の基準値はその年の前年までの30年間の各月の平均値。

### エルニーニョ監視指数の確率予測（予測期間：2026年3月～2026年9月）

年	月	平均期間	各月の確率		
2026年	3月	2026年1月～2026年5月	10	90	
	4月	2026年2月～2026年6月		90	10
	5月	2026年3月～2026年7月		90	10
	6月	2026年4月～2026年8月		90	10
	7月	2026年5月～2026年9月		90	10
	8月	2026年6月～2026年10月		90	10
	9月	2026年7月～2026年11月		90	10

■高い ■平常 ■低い

図2 各月のエルニーニョ監視海域の監視指数（海面水温の基準値との差）の5か月移動平均値が各カテゴリ（高い／平常／低い）に入る確率（%）

エルニーニョ監視海域の監視指数（海面水温の基準値との差）の5か月移動平均値が高い（+0.5°C以上）／平常（-0.4°C～+0.4°C）／低い（-0.5°C以下）の範囲に入る確率を、それぞれ赤／黄／青の横棒の長さで月ごとに示す。気象庁の定義では、監視指数の5か月移動平均値が高（低）い状態で6か月以上持続した場合にエルニーニョ（ラニーニャ）現象の発生としているが、エルニーニョ監視速報においては速報性の観点から、実況と予測を合わせた監視指数の5か月移動平均値が高（低）い状態で6か月以上持続すると見込まれる場合に「エルニーニョ（ラニーニャ）現象が発生」と表現している。

# (参考) 近年の夏の特徴 (近畿地方)

## 近年の夏の特徴

期間	近畿地方 気温平年 差℃	梅雨の時期(6 ~7月)の降水 量平年比%(階 級)	夏の天候の特徴
2016/6 ~8	+0.3 (高 い)	100 (平年並)	6月から7月前半にかけて、梅雨前線の影響で曇りや雨の日が多くなりました。7月後半から8月にかけては、高気圧に覆われて晴れた日が多くなりました。梅雨入り・梅雨明けともに平年並となりました。
2017/6 ~8	+0.2 (平 年並)	79 (少ない)	6月上旬から中旬は、梅雨前線が日本の南海上に停滞したため、晴れた日が多くなりましたが、6月下旬から7月上旬は、梅雨前線の影響で曇りや雨の日が多くなりました。7月中旬から8月にかけては、高気圧に覆われて晴れた日が多くなりました。梅雨入りは平年よりかなり遅く、梅雨明けは平年より早くなりました。
2018/6 ~8	+1.0 (か なり高 い)	156 (かなり多 い)	顕著な高温となりました(当時の1位タイ)。6月中旬は梅雨前線の影響で曇りや雨の日が多くなりましたが、上旬と下旬は高気圧に覆われて晴れた日が多くなりました。7月上旬は梅雨前線の活動が活発となった影響で広い範囲で大雨となりました(平成30年7月豪雨)。その後は、太平洋高気圧の張り出しが強まり、よく晴れて気温が顕著に高くなりました。梅雨入りは平年並、梅雨明けは平年よりかなり早くなりました。
2019/6 ~8	0.0 (平 年並)	108 (平年並)	高気圧に覆われて晴れた日が多くなった時期がありましたが、台風や前線の影響で曇りや雨の日が多くなりました。気温の変動が大きくなりました。梅雨入りは平年よりかなり遅く、梅雨明けは平年より遅くなりました。
2020/6 ~8	+0.6 (高 い)	174 (かなり多 い)	6月中旬から7月下旬にかけては梅雨前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多く、8月は太平洋高気圧に覆われて、晴れて暑い日が多くなりました。6月と8月は記録的な高温となった一方、7月は低く、気温の変動が大きくなりました。梅雨入りは平年より遅く、梅雨明けは平年よりかなり遅くなりました。
2021/6 ~8	+0.0 (平 年並)	94 (平年並)	6月中旬から7月前半にかけては梅雨前線や上空の寒気の影響で曇りや雨の日が多く、7月後半から8月上旬にかけては高気圧に覆われて晴れた日が多くなりました。8月中旬からは本州付近に活発な前線が停滞し、広い範囲で記録的な大雨となりました。梅雨入りは平年より遅く、梅雨明けは平年より早くなりました。
2022/6 ~8	+0.8 (か なり高 い)	85 (平年並)	暖かい空気に覆われやすかったため、気温は平年よりかなり高くなりました。台風や低気圧及び前線の影響を受ける時期もあり大雨となった所もありましたが、6月を中心に高気圧に覆われて晴れた日が多かったため、少雨となりました。
2023/6 ~8	+1.0 (か なり高 い)	97 (平年並)	太平洋高気圧に覆われて晴れた日が多く、暖かい空気に覆われやすかったため顕著な高温(当時の1位タイ)となりました。梅雨明けは平年より早くなりました。
2024/6 ~8	+1.3 (か なり高 い)	120 (多い)	梅雨入りは平年よりかなり遅く、また梅雨の時期(6月~7月)の降水量は平年より多くなりました。その後は太平洋高気圧に覆われて晴れた日が多く、暖かい空気に覆われやすかったため、夏の気温は顕著な高温(当時の1位)となりました。
2025/6 ~8	+2.0 (か なり高 い)	84 (平年並)	梅雨入り、梅雨明けともにかなり早く、いずれもこれまでで最も早くなりました。その後、太平洋高気圧が本州付近に張り出しやすかったため、2024年に続き、1946年の統計開始以降、夏として第1位の記録的な高温となり、日照時間もこれまでで第1位の記録的な多照となりました。

# (参考) 近畿の梅雨入りと梅雨明け

## 昭和26年（1951年）以降の梅雨入りと梅雨明け（確定値）：近畿

近畿			
年	梅雨入り	梅雨明け	梅雨の時期の降水量の地域平均 平年比(%)
1951年	6月7日頃	7月20日頃	137
1952年	6月14日頃	7月15日頃	177
1953年	5月28日頃	7月24日頃	161
1954年	5月30日頃	7月21日頃	184
1955年	6月15日頃	7月9日頃	82
1956年	5月22日頃	7月12日頃	89
1957年	6月17日頃	7月29日頃	137
1958年	6月25日頃	7月12日頃	78
1959年	6月5日頃	7月20日頃	82
1960年	6月10日頃	7月11日頃	85
1961年	6月9日頃	7月13日頃	153
1962年	6月2日頃	7月20日頃	148
1963年	—	7月13日頃	95
1964年	6月13日頃	7月22日頃	85
1965年	6月12日頃	7月25日頃	130
1966年	5月29日頃	7月13日頃	115
1967年	6月21日頃	7月13日頃	115
1968年	6月13日頃	7月17日頃	110
1969年	6月17日頃	7月15日頃	142
1970年	6月10日頃	7月18日頃	122
1971年	6月3日頃	7月28日頃	107
1972年	6月3日頃	7月18日頃	152
1973年	6月5日頃	7月4日頃	44
1974年	6月11日頃	7月20日頃	127
1975年	6月5日頃	7月15日頃	94
1976年	6月5日頃	7月20日頃	85
1977年	6月7日頃	7月20日頃	71
1978年	6月11日頃	7月3日頃	76
1979年	6月7日頃	7月22日頃	89
1980年	5月29日頃	7月20日頃	118
1981年	6月11日頃	7月16日頃	69
1982年	6月13日頃	7月27日頃	89
1983年	6月12日頃	7月25日頃	101
1984年	6月8日頃	7月17日頃	118
1985年	6月7日頃	7月15日頃	123

1986年	6月16日頃	7月27日頃	106
1987年	6月8日頃	7月24日頃	88
1988年	6月8日頃	7月31日頃	148
1989年	6月8日頃	7月19日頃	87
1990年	5月31日頃	7月18日頃	77
1991年	5月26日頃	7月21日頃	108
1992年	6月7日頃	7月21日頃	73
1993年	5月30日頃	—	149
1994年	6月8日頃	7月10日頃	40
1995年	6月3日頃	7月23日頃	119
1996年	6月7日頃	7月11日頃	89
1997年	6月2日頃	7月18日頃	122
1998年	6月2日頃	7月31日頃	105
1999年	6月3日頃	7月22日頃	124
2000年	6月9日頃	7月18日頃	59
2001年	6月5日頃	7月19日頃	72
2002年	6月11日頃	7月20日頃	69
2003年	6月10日頃	8月1日頃	103
2004年	6月6日頃	7月13日頃	59
2005年	6月11日頃	7月18日頃	74
2006年	6月8日頃	7月27日頃	138
2007年	6月14日頃	7月24日頃	108
2008年	5月28日頃	7月12日頃	69
2009年	6月3日頃	8月3日頃	92
2010年	6月13日頃	7月17日頃	132
2011年	5月22日頃	7月8日頃	91
2012年	6月8日頃	7月16日頃	122
2013年	5月27日頃	7月8日頃	79
2014年	6月3日頃	7月20日頃	48
2015年	6月3日頃	7月24日頃	139
2016年	6月4日頃	7月18日頃	100
2017年	6月20日頃	7月13日頃	79
2018年	6月5日頃	7月9日頃	156
2019年	6月27日頃	7月24日頃	108
2020年	6月10日頃	8月1日頃	174
2021年	6月12日頃	7月17日頃	94
2022年	6月14日頃	7月23日頃	85
2023年	5月29日頃	7月16日頃	97
2024年	6月17日頃	7月18日頃	120
2025年	5月17日頃	6月27日頃	84
平年	6月6日頃	7月19日頃	

- ・「—」は、梅雨入り梅雨明けの時期がはっきりしなかったため、特定できなかった場合を表します。
- ・「平年」は、令和2年（2020年）までの過去30年の平均（入り・明けを特定できなかった年は除外）の日付です。
- ・「梅雨の時期の降水量の平年比（地域平均値）」は、全国の気象台・測候所等での観測値を用い、概ね梅雨の期間に相当する6～7月（沖縄と奄美は5～6月）の2か月間降水量の平年比(%)を各地域で平均したものです。

# 防災気象情報の改善について

---

令和7年 12月

令和8年 4月 更新

水管理・国土保全局、気象庁

# 現在の主な防災気象情報と警戒レベルとの関係

- **警戒レベル**は、住民が災害時にとるべき避難行動が直感的にわかるよう、**避難情報等を5段階に整理**したものです。（例：警戒レベル4 = 避難指示、警戒レベル3 = 高齢者等避難）
- **防災気象情報**は、**避難情報の発令や住民の自主避難の参考となる「警戒レベル相当情報」**という位置づけですが、警戒レベルとの関係が分かりづらいという課題があります。

## 警戒レベル

警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	行動を促す情報 (避難情報等)
5	災害発生又は切迫	命の危険直ちに安全確保！	緊急安全確保
4	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難	避難指示
3	災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難※	高齢者等避難
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認する	洪水、大雨、高潮注意報
1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報

<警戒レベル4までに必ず避難！>

市町村は、警戒レベル相当情報などを参考に、総合的に避難指示等の発令を判断する

## 現在の防災気象情報 (警戒レベル相当情報)

警戒レベル相当情報	防災気象情報				
	洪水等に関する情報			土砂災害	高潮害
	指定河川洪水予報 (河川毎)	洪水害 (市町村毎)	大雨浸水害 (市町村毎)		
5相当	氾濫発生情報	大雨特別警報 (浸水害)	大雨特別警報 (土砂災害)	高潮氾濫発生情報	
4相当	氾濫危険情報		土砂災害警戒情報	高潮特別警報 高潮警報	
3相当	氾濫警戒情報	洪水警報	大雨警報 (土砂災害)	警報に切り替える可能性が高い 高潮注意報	
2相当	氾濫注意情報	洪水注意報	大雨注意報	高潮注意報	
1相当					

防災気象情報と警戒レベルとの関係が分かりづらいという課題があり、「防災気象情報に関する検討会」において2年半かけて検討。その最終とりまとめ（令和6年6月）に沿って防災気象情報を改善。

- 防災気象情報（河川氾濫、大雨、土砂災害、高潮）を5段階の警戒レベルにあわせて発表します。
- 対象災害ごとの情報として整理するとともに、**レベル4相当の情報として危険警報を新設します。**
- **情報名称そのものにレベルの数字を付けて発表します。**（例：レベル4大雨危険警報等）

## 新しい防災気象情報の情報体系とその名称

	河川氾濫 1級河川などの大河川の氾濫	大雨 低地の浸水や大河川以外の氾濫	土砂災害 急傾斜地のがけ崩れや土石流	高潮 海水面の上昇や波の打上げによる浸水	(警戒レベルごとの) 住民が とるべき行動
警戒レベル <b>5相当</b>	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報	命の危険 直ちに安全確保！
----- <警戒レベル4までに危険な場所から かならず避難！> -----					
警戒レベル <b>4相当</b>	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報	危険な場所から全員避難
警戒レベル <b>3相当</b>	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報	避難に時間を要する人は早めに避難、避難の準備など
警戒レベル <b>2</b>	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報	避難行動を確認（避難場所や避難ルート、避難のタイミングなど）
警戒レベル <b>1</b>	早期注意情報				災害への心構えを高める

# 河川氾濫・大雨に関する情報

- 河川氾濫等に関する情報は、**洪水予報河川のみを対象とした河川ごとの情報とし、「レベル3 氾濫警報」等の名称で発表します。**これまでの気象台による市町村ごとの洪水警報・注意報の発表は行いません。
- **水位周知河川の氾濫危険情報等のレベル毎の水位の情報は、警戒レベルとの関係を含めてこれまで通りの運用とし、洪水予報河川への移行を促進します。**
- 浸水害を対象とした大雨特別警報・警報・注意報は、大雨に関する情報として警戒レベル毎に整理し、警戒レベル相当情報として位置づけます。**洪水予報河川以外の河川も、大雨に関する情報で一緒に扱います。**

## 河川氾濫・大雨に関する情報体系と名称

河川氾濫等に関する情報				大雨に関する情報
分類	洪水予報河川	水位周知河川	左記以外の河川も含む洪水警報等	
河川数	約400河川	河川事務所・都道府県による水位情報は、これまでどおり発表することとし、警戒レベルとの関係は変更しない。	大雨に関する情報で扱う。	-
発表主体	河川事務所または都道府県と気象台			気象台
発表単位	河川ごと			市町村ごと
対象とする主な現象	外水氾濫			内水氾濫及び 洪水予報河川以外の外水氾濫
発表指標	水位（実測・予測）			表面雨量指数・流域雨量指数 （解析・予測）
情報名称	5	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	
	4	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	
	3	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	
	2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	
	1	早期注意情報	〔 洪水予報河川への移行を促進 〕	早期注意情報

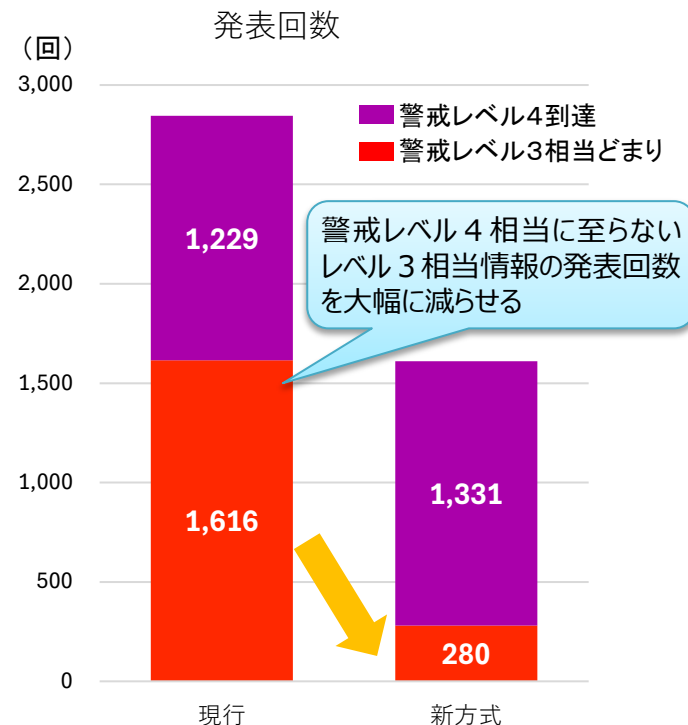
# 土砂災害に関する情報

- 警戒レベル4相当は、現在の土砂災害警戒情報から**レベル4土砂災害危険警報**に変更します。
- **レベル3土砂災害警報**は、発表基準を見直すことで、現在の大雨警報（土砂災害）に比べ、警戒レベル4相当に至らない**情報発表を大幅に減らします**。
- 今後は、**まもなくレベル4土砂災害危険警報を発表する可能性が高い**状況において、レベル3土砂災害警報を発表しますので、情報を活用いただくにあたりご留意ください。

## 土砂災害に関する情報体系と名称

発表指標		60分雨量（解析・予測） 土壌雨量指数（解析・予測）
情報名称	5	<b>レベル5土砂災害特別警報</b>
	4	<b>レベル4土砂災害危険警報</b>
	3	<b>レベル3土砂災害警報</b>
	2	<b>レベル2土砂災害注意報</b>
	1	<b>早期注意情報</b>

※福知山市の「レベル4土砂災害危険警報」は、市全域に発表される。  
危険な個所はキキクルで確認。



土砂災害に関する警戒レベル3相当及び4相当情報の発表回数の比較（令和5年6～9月のデータに基づく）

新方式の警戒レベル3相当情報の発表回数は、レベル4相当情報の基準（CL）に3時間先に到達すると見込まれる場合として算出。

- 警戒レベル相当情報（河川氾濫、大雨、土砂災害、高潮）以外の特別警報・警報・注意報は、**これまでと変わりません。**
- これら情報について、気象庁ホームページ等では、特別警報は黒、警報は赤を用いるが、**警戒レベルには相当しない**ことに留意してください。

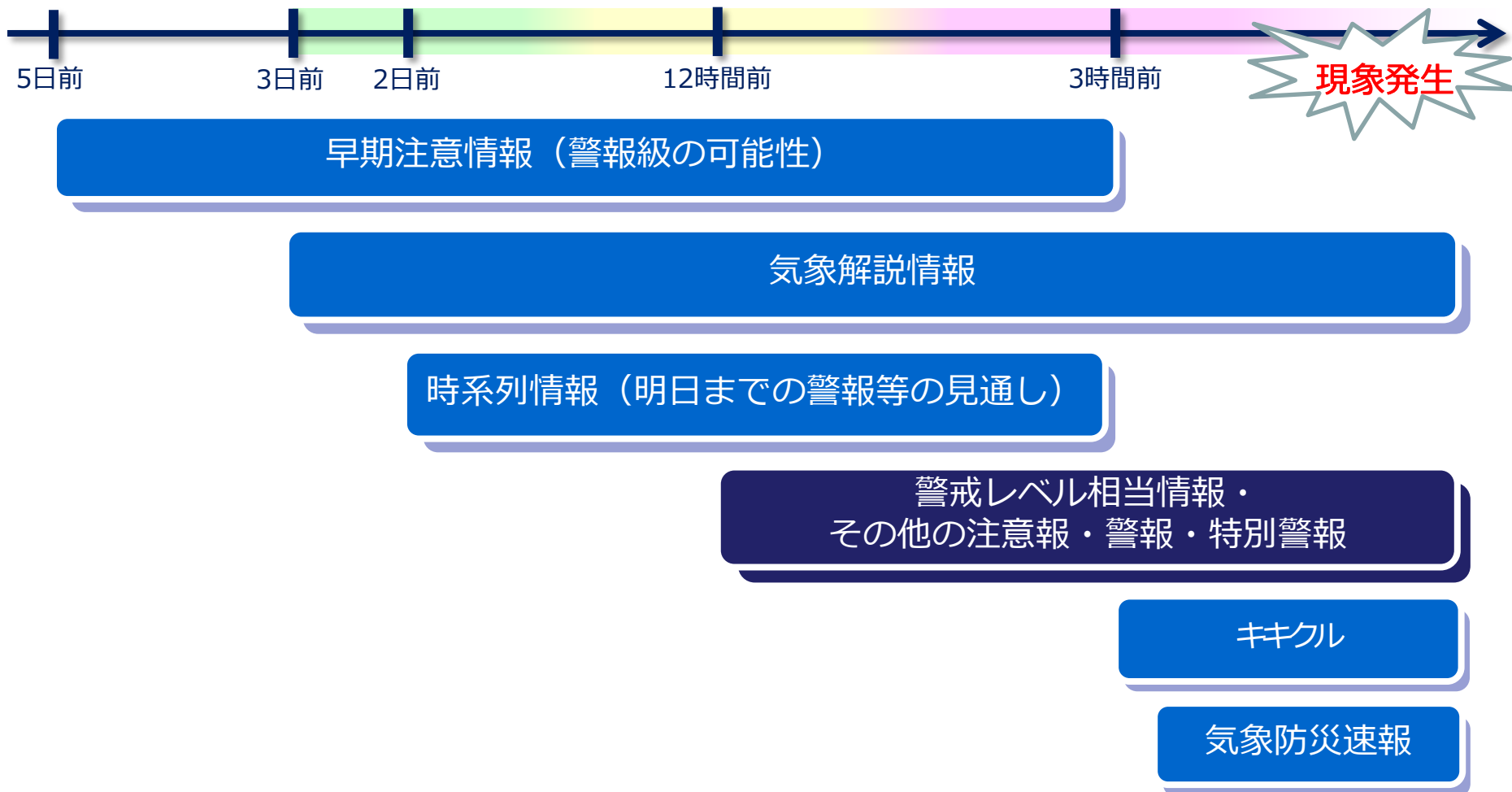
### 警戒レベル相当情報以外の特別警報・警報・注意報

<b>特別警報</b>	暴風、波浪、大雪、暴風雪
<b>警報</b>	暴風、波浪、大雪、暴風雪
<b>注意報</b>	強風、波浪、大雪、風雪、濃霧、雷、乾燥、なだれ、着氷、着雪、霜、低温、融雪

※これらの特別警報や警報は、レベル5（緊急安全確保）やレベル3（高齢者等避難）には相当しないことに留意してください。

# 段階的に発表される防災気象情報

- 警戒レベル相当情報とあわせて、**段階的に発表される様々な防災気象情報を防災対応の判断に活用**することが重要です。
  - 早期注意情報や時系列情報等は、心構えを高め、事前の体制確保の検討に活用。
  - キキクルや気象防災速報は、避難の判断や後押しに活用してください。



# 早期注意情報・時系列情報

- 早期注意情報（警戒レベル1）は、**5日先までの警報級の現象の可能性**を発表
- 時系列情報は、警報・注意報に先立って、**翌日までの気象状況の見通し**を、毎日4回発表





## 早期注意情報（警報級の可能性）

	1日	2日				3日		4日	5日	6日
警報級の可能性	18-24	00-06	06-12	12-18	18-24	00-12	12-24			
大雨	-	[中]	[高]	[中]	-	-	-	-	-	-
土砂災害	-	[中]	[高]	[高]	[中]	[中]	-	-	-	-

明後日までを対象とした情報について、現行では大雨に含まれる土砂災害の警報級の可能性を切り分けて発表するとともに、現行よりも情報の時間幅を細分化。

## 時系列情報（明日までの警報等の見通し）

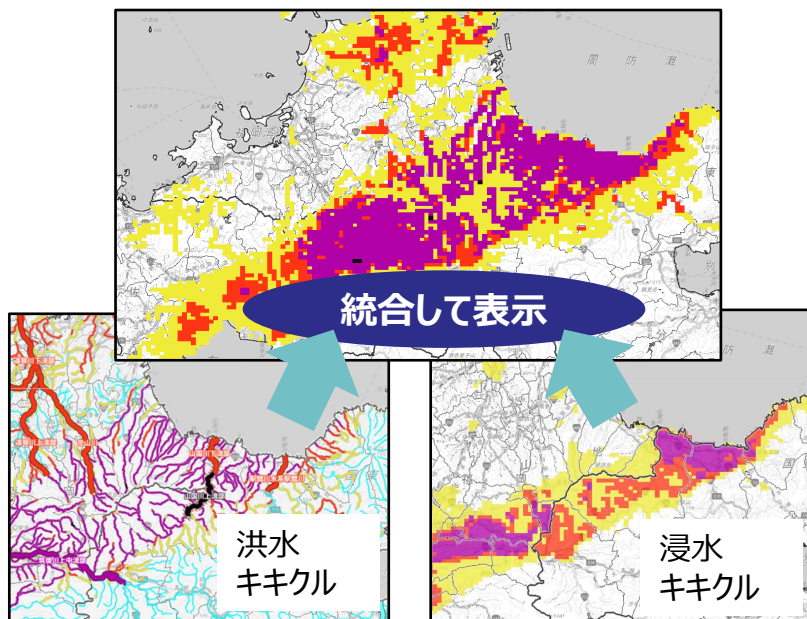
〇〇市の時系列情報（明日までの警報等の見通し）													
2026年XX月XX日11時00分発表													
〇〇市	地域	28日				29日				30日	備考・関連する現象		
		12-15	15-18	18-21	21-24	00-03	03-06	06-09	09-12	12-15	15-18	18-21	21-24
1時間最大雨量 (mm)				10	30	50	50	30	20	10			
2.4時間最大雨量 (mm)		200											
大雨													
土砂災害													
暴風 (m/s)	陸上	5	10	15	20	25	25	25	25	20	15	5	
	海上	10	15	25	30	30	30	30	30	30	20	10	
6時間最大降雪量 (cm)													
24時間最大降雪量 (cm)													
大雪													
波浪 (m)		2	4	8	8	8	8	8	8	8	8	5	2
高潮	潮位 (m)	0.5	0.5	0.5	0.5	1.0	1.0	1.5	2.0	1.5	1.0	0.5	
雪													
融雪													
濃霜	陸上												
	海上												
着氷													
着雪													
乾燥	実効温度 (℃)			80				90					70
	最小温度 (℃)			80				90					70
なだれ													
低気													
霜													

	災害切迫	特別警報基準を超えると予想される時間帯
	危険	危険警報基準を超えると予想される時間帯 (土砂災害、高潮については、危険警報発表の可能性のある時間帯)
	警戒	警報基準を超えると予想される時間帯 (土砂災害、高潮については、警報発表の可能性のある時間帯)
	注意	注意報基準を超えると予想される時間帯 (高潮については、注意報発表の可能性のある時間帯)

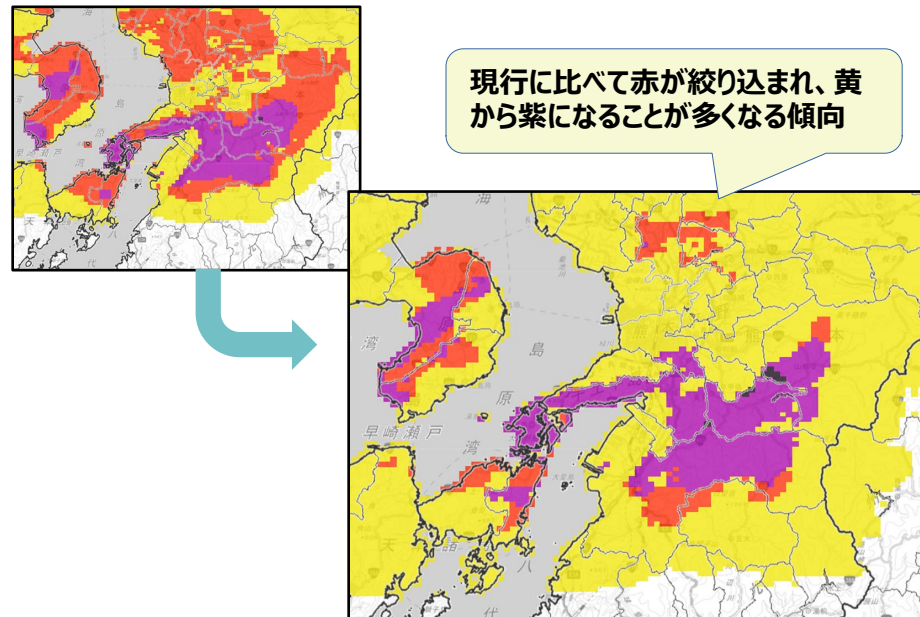
# キキクル

- 大雨や土砂災害に関する情報が発表された際、**危険度が高まっている地域を確認**するにはキキクルを活用してください。
- 「**大雨キキクル**」は、**大河川以外の河川の氾濫と浸水の危険度を重ねて表示**するもので、大雨に関する情報に対応しています。
- 「**土砂キキクル**」は、土砂災害の危険度を表示するものです。表示方法は従来と変わりませんが、以下の特性の変化に留意が必要です。
  - 現行に比べ、警戒（赤色）の判定が狭く、**注意（黄色）から危険（紫色）のケースが多くなります。**
  - 4～6時間先に警戒レベル4相当の基準に達すると予想してレベル3土砂災害警報を発表した場合には、**警戒（赤色）の判定が出ていないことがあります。**

## 大雨キキクル（イメージ）



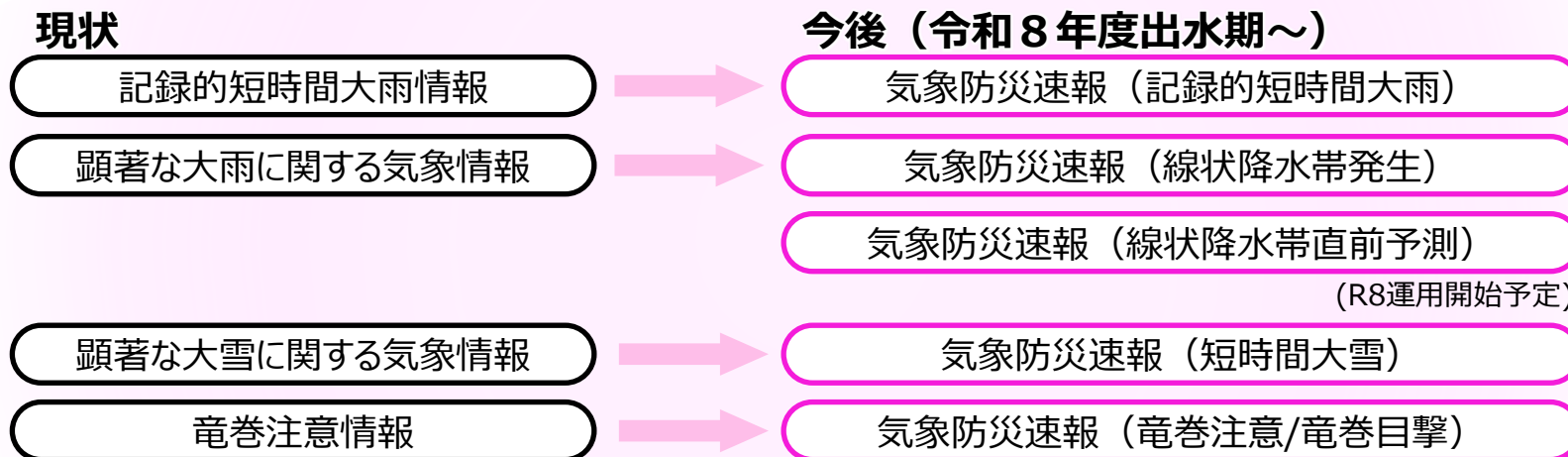
## 土砂キキクルの特性変化（イメージ）



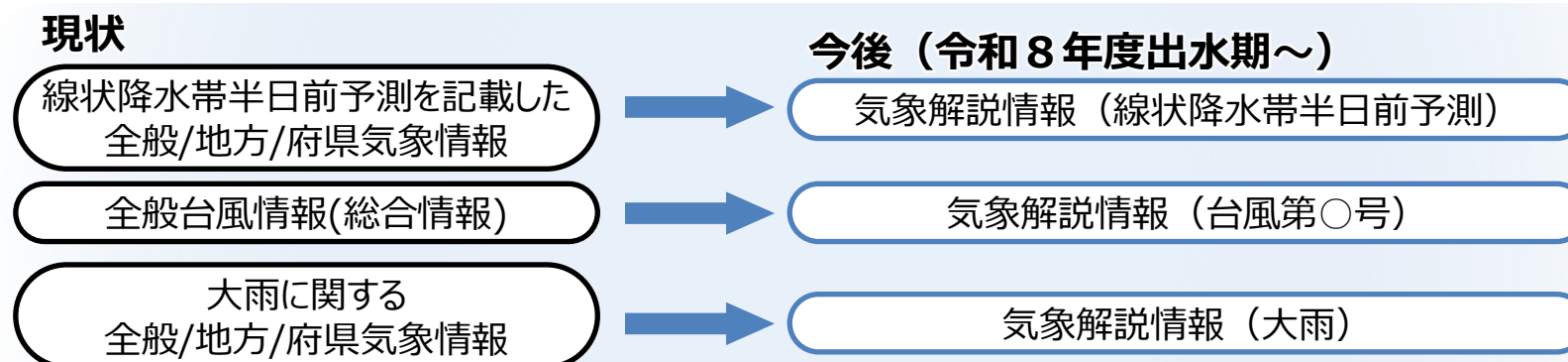
気象庁HPでは現行の洪水キキクルと浸水キキクルも切り替えて閲覧可能

- 警戒レベル相当情報やそれ以外の警報等を補足する情報として、線状降水帯など**顕著現象が発生または発生しつつある場合に「気象防災速報」を発表します。**
- 現在・今後の気象状況や災害発生の危険度の見通しなどを網羅的に解説する情報として、「気象解説情報」も適宜に発表します。

## 気象防災速報 … 極端な現象を速報的に伝える情報 (府県単位でのみ発表)



## 気象解説情報 … 現在・今後の気象状況を網羅的に解説する情報 (全国・地方・府県単位で発表)



# 防災気象情報の令和8年5月29日からの主な変更点

## 河川氾濫・大雨

- **洪水予報河川**では、新設する河川氾濫の特別警報を**レベル5 氾濫特別警報**とし、(発表には、河川管理者の氾濫通報を活用)
- **水位周知河川**では、これまでの水位情報による氾濫危険情報等の発表を続けつつ、**氾濫通報に基づく氾濫発生情報の充実**を図る。
- **その他河川・下水道**では、**氾濫通報に基づく氾濫発生情報の充実**を図る。(この資料では略)
- **洪水警報**は、運用せず、**大雨の予報・警報と一体化**。(レベル4 大雨危険警報を新設)

## 土砂災害

- 警戒レベル4相当は、現在の**土砂災害警戒情報からレベル4 土砂災害危険警報に変更**。
- 警戒レベル4相当に至らない**レベル3 土砂災害警報発表を大幅に削減**。
- レベル3 土砂災害警報発表時は、**まもなくレベル4 土砂災害危険警報を発表する可能性大**。

## 高潮 (この資料では略)

- **レベルに合わせた名称変更**。
- **気象庁**の潮位予測、**国土交通省**の波の打上げ高予測、**都道府県**の集約する地形情報等を結集し、国土交通大臣が**指定する海岸**について、**三者で共同して予報・警報**を実施
- **氾濫通報に基づく氾濫発生情報の充実**を図る。

## 共通

- **情報名称にレベルの数字**をつけて発表。
- レベル2では「注意報」、レベル3では「警報」と**統一感を持った名称へ**。